

2011年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」の概要

3年次調査

- 調査対象者 学部 2009年度生全員。
- 調査方法 2011年度秋学期成績通知書交付時に調査票を配布し、その場で学生に回答してもらい回収した。
- 回収状況 有効回収数は4035票であり、3月31日時点での在籍者数に対する回収率は67.5%であった。

学部別回収状況（3年次調査）

	有効票数	在学者数	回収率 (%)
神学部	62	73	84.9
文学部	453	712	63.6
社会学部	409	469	87.2
法学部	577	933	61.8
経済学部	481	860	55.9
商学部	558	878	63.6
政策学部	269	421	63.9
文化情報学部	213	289	73.7
理工学部	572	780	73.3
生命医科学部	143	239	59.8
スポーツ健康科学部	128	164	78.0
心理学部	99	159	62.3
所属不明	71	-	
合計	4035	5977	67.5

2011 年度 キャンパスライフに関するアンケート調査(2009 年度生用)

アンケートご協力をお願い

同志社大学教育開発センターでは、より良い教育プログラムの開発を目的として、みなさんが本学の教育に対してどのように感じておられるかを把握するため、調査を実施しています。回答いただいた内容は、すべて数値に置き換えられ統計的に処理されますので、みなさんの回答が他の人に知られることは絶対にありません。また、調査結果が本学の教育改善以外の目的に使用されることもありません。本学の教育に対するみなさんの意見を知らるための貴重な資料となりますので、ご協力くださいますよう、よろしくお願いたします。

- 回答の仕方は、質問文の指示にしたがってください。
- ほとんどの質問は、あてはまる番号に○をつけてお答えください。
- いくつかの質問には、数値や文字を記入してください。
- 回答したくない質問には、無理に答えていただくなくて結構です。
- 質問は全部で 28 問あります。10分程度で回答できる内容ですから、アンケート用紙を受け取られたら、すぐに回答していただき、所定のアンケート回収箱に入れてください。

同志社大学教育開発センター

E-mail: ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp

TEL: 075-251-3277

1. あなたが所属している学部・学科について、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 神学部神学科 | 12. 法学部法律学科 | 23. 理工学部エネルギー機械工学科 |
| 2. 文学部英文学科 | 13. 法学部政治学科 | 24. 理工学部機能分子・生命化学科 |
| 3. 文学部哲学科 | 14. 経済学部経済学科 | 25. 理工学部化学システム創成工学科 |
| 4. 文学部美学芸術学科 | 15. 商学部商学科 | 26. 理工学部環境システム学科 |
| 5. 文学部文化史学科 | 16. 政策学部政策学科 | 27. 理工学部数理システム学科 |
| 6. 文学部国文学科 | 17. 文化情報学部文化情報学科 | 28. 生命医科学部医工学科 |
| 7. 社会学部社会学科 | 18. 理工学部インテリジェント情報工学科 | 29. 生命医科学部医情報学科 |
| 8. 社会学部社会福祉学科 | 19. 理工学部情報システムデザイン学科 | 30. 生命医科学部医生命システム学科 |
| 9. 社会学部メディア学科 | 20. 理工学部電気工学科 | 31. スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 |
| 10. 社会学部産業関係学科 | 21. 理工学部電子工学科 | 32. 心理学部心理学科 |
| 11. 社会学部教育文化学科 | 22. 理工学部機械システム工学科 | |

2. あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

3. あなたは自宅通学ですか、自宅外通学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 自宅通学 2. 自宅外通学

4. あなたの 2011 年度終了時点での累積 GPA はいくらでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 1.00 ポイント未満 | 2. 1.00～1.49 ポイント | 3. 1.50～1.99 ポイント |
| 4. 2.00～2.49 ポイント | 5. 2.50～2.99 ポイント | 6. 3.00 ポイント以上 |

5. あなたの高校での成績は、学年の中で大体どのくらいでしたか。次の中から最も近いものを選んでください。

1. 上位の方 2. 中の上ぐらい 3. 中ぐらい 4. 中の下ぐらい 5. 下位の方 9. わからない

6. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 一般入試 | 9. 法人内諸学校等推薦入試(同志社国際高校) |
| 2. 指定校推薦入試 | 10. キリスト教主義学校連携ネットワーク推薦入試
(法人内諸学校等推薦入試(新島学園高校)を含む) |
| 3. 推薦選抜入試(公募制) | 11. スポーツ推薦選抜入試 |
| 4. AO入試 | 12. 第2年次転入学試験、第3年次転入学試験、第3年次編入学試験 |
| 5. 大学入試センター試験を利用する入試 | 13. 社会人特別選抜入試 |
| 6. 法人内諸学校等推薦入試(同志社高校) | 14. 外国人留学生入試 |
| 7. 法人内諸学校等推薦入試(同志社香里高校) | |
| 8. 法人内諸学校等推薦入試(同志社女子高校) | |

7. あなたの第一志望校はどこでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現在、在籍している学部(学科) 2. 本学の他学部(他学科) 3. 私立他大学 4. 国公立大学
5. 短期大学 6. 専門学校 7. その他(具体的に)

8. あなたは現役ですか、浪人ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現役 2. 一浪 3. 二浪 4. その他(留学生、社会人など)

9. あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	(履修・利用し ていない)
1) 英語・外国語の授業	1	2	3	4	5	9
2) 全学共通教養教育科目の授業	1	2	3	4	5	9
3) 所属学部・学科の専門の授業	1	2	3	4	5	9
4) 教室の設備環境	1	2	3	4	5	9
5) 図書館の環境や設備	1	2	3	4	5	9
6) パソコンの利用環境	1	2	3	4	5	9
7) 就職に関する情報提供や相談	1	2	3	4	5	9
8) 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭)の授業	1	2	3	4	5	9

10. あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 同志社科目(建学の精神や理念にふれる科目) | 6. 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭) |
| 2. 教養演習科目 | 7. 体育実技(スポーツパフォーマンス) |
| 3. 学際科目 | 8. AKP 同志社留学生センター開設科目 |
| 4. プロジェクト科目 | 9. キャリア形成支援科目 |
| 5. 初年次教育科目(少人数制で主に大学での学習方法について学ぶ科目) | 10. 国際教養科目 |

11. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、今まで本学で学生生活を経験されて、その力がさらに身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	大学入学時に				現在			
	身につけていなかった	あまり身につけていなかった	やや身につけていた	身につけていた	身につけなかった	あまり身につけなかった	やや身についた	身についた
1) 一般的な教養	1	2	3	4	1	2	3	4
2) 専攻分野や学科の知識	1	2	3	4	1	2	3	4
3) 自分の意見と事実を分けて書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
4) 定められた形式に従ってレポートを書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
5) 文献や資料を読んで要点を理解する力	1	2	3	4	1	2	3	4
6) 課題を解決する力	1	2	3	4	1	2	3	4
7) ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4	1	2	3	4
8) プレゼンテーションの力	1	2	3	4	1	2	3	4
9) 自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4	1	2	3	4
10) 科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4	1	2	3	4
11) ものごとに対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4	1	2	3	4
12) 英語の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
13) 英語以外の外国語(初修外国語)の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
14) 異文化の人々に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
15) 地域社会が直面する問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
16) チームワーク	1	2	3	4	1	2	3	4
17) グローバル化による問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
18) リーダーシップの能力	1	2	3	4	1	2	3	4
19) 人間関係を構築する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
20) 異文化の人々と協力する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
21) 批判的に考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
22) 効果的に学習する技能	1	2	3	4	1	2	3	4
23) 自ら考え行動する力	1	2	3	4	1	2	3	4
24) キリスト教精神	1	2	3	4	1	2	3	4
25) 日本文化に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
26) コミュニケーション能力	1	2	3	4	1	2	3	4

12. あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くしない	あまりしない	たまにする	よくする
1) 教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る	1	2	3	4
2) 授業内容について教員に質問をする	1	2	3	4
3) 授業で出された課題はきちんと提出する	1	2	3	4
4) 授業内容について他の学生と議論する	1	2	3	4
5) 試験の前に時間をかけて勉強をする	1	2	3	4
6) 授業の予習や復習をする	1	2	3	4
7) 授業に遅刻や欠席をする	1	2	3	4
8) 欠席した授業の内容はすぐに補う	1	2	3	4
9) 授業を他の活動より優先する	1	2	3	4
10) 授業をつまらなく感じる	1	2	3	4
11) 業者の講義ノートを購入する	1	2	3	4

13. あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くなかった	あまりなかった	時々あった	よくあった
1) 出欠の確認	1	2	3	4
2) ディスカッション	1	2	3	4
3) 学生によるプレゼンテーション	1	2	3	4
4) SA やTA(上級生や大学院生の補助)による助言	1	2	3	4
5) グループでの作業や活動	1	2	3	4
6) 定期的な習熟度チェック小テスト	1	2	3	4
7) 定期的な課題提出	1	2	3	4
8) 課題提出物の添削と返却	1	2	3	4
9) フィールド・ワーク	1	2	3	4
10) 体験学習	1	2	3	4
11) 実習・実験	1	2	3	4

14. あなたは、大学入学後につきのような経験をしたことがありますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	経験したことがある	経験したことがない
1) 語学研修プログラムへの参加	1	2
2) 正規交換留学生として留学	1	2
3) 私費留学生として留学	1	2

15. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	役に立たなかった	あまり役に立たなかった	やや役に立った	役に立った
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方に触れること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 一般常識を身につけること	1	2	3	4
9) 協調性を持つこと	1	2	3	4
10) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
11) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
12) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
13) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4
14) 国際的視野の獲得	1	2	3	4

16. あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。次のような意見について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	そう思う
1) 大学で学ぶことは楽しい	1	2	3	4
2) 大学で学ぶこと自体に価値がある	1	2	3	4
3) 大学でよい成績をとることは重要だ	1	2	3	4
4) 大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ	1	2	3	4
5) 大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
6) 大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

17. あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1) 同じ学部・学科の友人がいる	1	2	3	4
2) 他の大学に通う友人がいる	1	2	3	4
3) 大学の教員と交流がある	1	2	3	4
4) 大学の一員だと感じる	1	2	3	4
5) 大学は気おくれして居心地が悪い	1	2	3	4
6) 大学はいつも退屈だ	1	2	3	4
7) 大学では毎日新しい発見がある	1	2	3	4

18. あなたは授業期間中、通常1週間に約何時間、授業中以外に学習活動(授業の予習・復習、課題作成、読書、実験、リハーサル等)を行いましたか。まったく学習しなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

19. あなたは授業期間中に、通常1週間に約何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。アルバイトをまったくしなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

20. あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書(漫画、趣味・娯楽雑誌を除く)をしましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0冊 2. 1冊 3. 2冊 4. 3冊 5. 4冊 6. 5冊以上

21. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	し な か っ た	し な か っ た	あ ま り し た	た ま に し た	日 常 的 に し た
1)図書館を利用する	1	2	3	4	
2)教科書以外の文献を読む	1	2	3	4	
3)新聞の政治面、経済面、国際面等を読む	1	2	3	4	
4)新聞、インターネット等で英文記事を読む	1	2	3	4	
5)学習の計画を立てる	1	2	3	4	
6)インターネットで情報を収集する	1	2	3	4	
7)パソコンを使って文書や資料を作成する	1	2	3	4	
8)ボランティア活動をする	1	2	3	4	
9)クラブ・サークル活動を行う	1	2	3	4	
10)新島襄や建学の精神にふれる大学の行事に参加する	1	2	3	4	

22. あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば不満である 5 不満である

23. あなたは、本学に対してどのくらい愛着がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 非常に愛着がある 2 かなり愛着がある 3 ある程度愛着がある 4 あまり愛着がない 5 まったく愛着がない

24. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 民間企業に就職する 2. 公務員や教員として就職する 3. 自営業や家業を継ぐ
 4. 大学院に進学する 5. 他大学に(編)入学する 6. 専門学校に進学する
 7. まだわからない 8. その他(具体的に)

25. あなたが働くこと(希望する進路)について真剣に考え始めたのはいつごろでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 大学入学前 | 4. 大学3年生の4月から9月 |
| 2. 大学1年生のとき | 5. 大学3年生の10月から3月 |
| 3. 大学2年生のとき | 6. まだ考えていない |

26. あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどのくらい重要ですか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	重要でない	あまり重要でない	ある	やや重要	重要である
1) 大学で学んだことが生かせること	1	2	3	4	
2) 自分の興味や関心に合っていること	1	2	3	4	
3) 失業の恐れがないこと	1	2	3	4	
4) 高い収入が得られること	1	2	3	4	
5) 社会に貢献すること	1	2	3	4	

27. あなたが将来めざす進路にはどのような能力が必要だと思いますか。A群より、もっとも必要だと考えるものから順に3つ答えて選択肢の番号を記入してください。また、その能力は大学生活のどの場面で得られると考えていますか。最初に選んだA群の項目に対応するものをB群から1つ選択して番号を記入してください。

順位	能力(A群から1つ選択)	場面(B群から1つ選択)
1		
2		
3		

A群

1. 一般的な教養	5. チームワーク	9. 人間関係を構築する能力
2. 専門分野の知識	6. 粘り強く取り組む力	10. 批判的に考える力
3. 課題を解決する力	7. 英語の能力	11. 自ら考え行動する力
4. 問題点を発見する力	8. リーダーシップの能力	12. コミュニケーション能力

B群

1. 大学の授業(教養科目)	5. 海外語学研修のプログラム	9. ボランティア活動
2. 大学の授業(専門科目)	6. 留学	10. 就職活動時
3. 大学の授業(ゼミ・卒業論文・卒業研究)	7. クラブ・サークル活動	11. 大学生活ではあまり身につかない
4. 大学の授業(外国語教育科目)	8. アルバイト	12. その他()

28. あなたは、希望する進路のために次のような活動を行いましたか。以下の項目のあてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	行った	行っていない
1) 専門学校に通う	1	2
2) 進路に関連のある授業を履修する	1	2
3) 目標とする職種に近いアルバイトをする	1	2
4) インターンシップ	1	2
5) 進路に関連する文献・雑誌記事を読む	1	2
6) クラブやサークルの先輩または OB・OG に仕事の話を聞く	1	2
7) キャリアセンターに行って相談を受ける	1	2
8) 教員に相談する	1	2
9) 語学検定試験や資格試験を受ける	1	2

本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学教育開発センター(ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp)までご連絡ください。

2011 年度 キャンパスライフに関するアンケート調査(2009 年度生用)

アンケートご協力をお願い

同志社大学教育開発センターでは、より良い教育プログラムの開発を目的として、みなさんが本学の教育に対してどのように感じておられるかを把握するため、調査を実施しています。回答いただいた内容は、すべて数値に置き換えられ統計的に処理されますので、みなさんの回答が他の人に知られることは絶対にありません。また、調査結果が本学の教育改善以外の目的に使用されることもありません。本学の教育に対するみなさんの意見を知らるための貴重な資料となりますので、ご協力くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

- 回答の仕方は、質問文の指示にしたがってください。
- ほとんどの質問は、あてはまる番号に○をつけてお答えください。
- いくつかの質問には、数値や文字を記入してください。
- 回答したくない質問には、無理に答えていただくなくて結構です。
- 質問は全部で 28 問あります。10分程度で回答できる内容ですから、アンケート用紙を受け取られたら、すぐに回答していただき、所定のアンケート回収箱に入れてください。

同志社大学教育開発センター

E-mail: ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp

TEL: 075-251-3277

1. あなたが所属している学部・学科について、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 神学部神学科 | 12. 法学部法律学科 | 23. 理工学部エネルギー機械工学科 |
| 2. 文学部英文学科 | 13. 法学部政治学科 | 24. 理工学部機能分子・生命化学科 |
| 3. 文学部哲学科 | 14. 経済学部経済学科 | 25. 理工学部化学システム創成工学科 |
| 4. 文学部美学芸術学科 | 15. 商学部商学科 | 26. 理工学部環境システム学科 |
| 5. 文学部文化史学科 | 16. 政策学部政策学科 | 27. 理工学部数理システム学科 |
| 6. 文学部国文学科 | 17. 文化情報学部文化情報学科 | 28. 生命医科学部医工学科 |
| 7. 社会学部社会学科 | 18. 理工学部インテリジェント情報工学科 | 29. 生命医科学部医情報学科 |
| 8. 社会学部社会福祉学科 | 19. 理工学部情報システムデザイン学科 | 30. 生命医科学部医生命システム学科 |
| 9. 社会学部メディア学科 | 20. 理工学部電気工学科 | 31. スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 |
| 10. 社会学部産業関係学科 | 21. 理工学部電子工学科 | 32. 心理学部心理学科 |
| 11. 社会学部教育文化学科 | 22. 理工学部機械システム工学科 | |

2. あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

3. あなたは自宅通学ですか、自宅外通学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 自宅通学 2. 自宅外通学

4. あなたの 2011 年度終了時点での累積 GPA はいくらでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 1.00 ポイント未満 | 2. 1.00～1.49 ポイント | 3. 1.50～1.99 ポイント |
| 4. 2.00～2.49 ポイント | 5. 2.50～2.99 ポイント | 6. 3.00 ポイント以上 |

5. あなたの高校での成績は、学年の中で大体どのくらいでしたか。次の中から最も近いものを選んでください。

1. 上位の方 2. 中の上ぐらい 3. 中ぐらい 4. 中の下ぐらい 5. 下位の方 9. わからない

6. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 一般入試 | 9. 法人内諸学校等推薦入試(同志社国際高校) |
| 2. 指定校推薦入試 | 10. キリスト教主義学校連携ネットワーク推薦入試
(法人内諸学校等推薦入試(新島学園高校)を含む) |
| 3. 推薦選抜入試(公募制) | 11. スポーツ推薦選抜入試 |
| 4. AO入試 | 12. 第2年次転入学試験、第3年次転入学試験、第3年
次編入学試験 |
| 5. 大学入試センター試験を利用する入試 | 13. 社会人特別選抜入試 |
| 6. 法人内諸学校等推薦入試(同志社高校) | 14. 外国人留学生入試 |
| 7. 法人内諸学校等推薦入試(同志社香里高校) | |
| 8. 法人内諸学校等推薦入試(同志社女子高校) | |

7. あなたの第一志望校はどこでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現在、在籍している学部(学科) 2. 本学の他学部(他学科) 3. 私立他大学 4. 国公立大学
5. 短期大学 6. 専門学校 7. その他(具体的に)

8. あなたは現役ですか、浪人ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現役 2. 一浪 3. 二浪 4. その他(留学生、社会人など)

9. あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	(履修から 利用し ない)
1) 英語・外国語の授業	1	2	3	4	5	9
2) 全学共通教養教育科目の授業	1	2	3	4	5	9
3) 所属学部・学科の専門の授業	1	2	3	4	5	9
4) 教室の設備環境	1	2	3	4	5	9
5) 図書館の環境や設備	1	2	3	4	5	9
6) パソコンの利用環境	1	2	3	4	5	9
7) 就職に関する情報提供や相談	1	2	3	4	5	9
8) 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭)の授業	1	2	3	4	5	9

10. あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 同志社科目(建学の精神や理念にふれる科目) | 6. 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭) |
| 2. 教養演習科目 | 7. 体育実技(スポーツパフォーマンス) |
| 3. 学際科目 | 8. AKP 同志社留学生センター開設科目 |
| 4. プロジェクト科目 | 9. キャリア形成支援科目 |
| 5. 初年次教育科目(少人数制で主に大学での学習方法について学ぶ科目) | 10. 国際教養科目 |

11. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、今まで本学で学生生活を経験されて、その力がさらに身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	大学入学時に				現在			
	身につけていなかった	あまり身につけていなかった	やや身につけていた	身につけていた	身につけなかった	あまり身につけなかった	やや身についた	身についた
1)一般的な教養	1	2	3	4	1	2	3	4
2)専攻分野や学科の知識	1	2	3	4	1	2	3	4
3)自分の意見と事実を分けて書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
4)定められた形式に従ってレポートを書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
5)文献や資料を読んで要点を理解する力	1	2	3	4	1	2	3	4
6)課題を解決する力	1	2	3	4	1	2	3	4
7)ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4	1	2	3	4
8)プレゼンテーションの力	1	2	3	4	1	2	3	4
9)自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4	1	2	3	4
10)科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4	1	2	3	4
11)ものごとに対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4	1	2	3	4
12)英語の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
13)英語以外の外国語(初修外国語)の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
14)異文化の人々に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
15)地域社会が直面する問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
16)チームワーク	1	2	3	4	1	2	3	4
17)グローバル化による問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
18)リーダーシップの能力	1	2	3	4	1	2	3	4
19)人間関係を構築する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
20)異文化の人々と協力する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
21)批判的に考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
22)効果的に学習する技能	1	2	3	4	1	2	3	4
23)自ら考え行動する力	1	2	3	4	1	2	3	4
24)キリスト教精神	1	2	3	4	1	2	3	4
25)日本文化に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
26)コミュニケーション能力	1	2	3	4	1	2	3	4

12. あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くしない	あまりしない	たまにする	よくする
1) 教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る	1	2	3	4
2) 授業内容について教員に質問をする	1	2	3	4
3) 授業で出された課題はきちんと提出する	1	2	3	4
4) 授業内容について他の学生と議論する	1	2	3	4
5) 試験の前に時間をかけて勉強をする	1	2	3	4
6) 授業の予習や復習をする	1	2	3	4
7) 授業に遅刻や欠席をする	1	2	3	4
8) 欠席した授業の内容はすぐに補う	1	2	3	4
9) 授業を他の活動より優先する	1	2	3	4
10) 授業をつまらなく感じる	1	2	3	4
11) 業者の講義ノートを購入する	1	2	3	4

13. あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くなかった	あまりなかった	時々あった	よくあった
1) 出欠の確認	1	2	3	4
2) ディスカッション	1	2	3	4
3) 学生によるプレゼンテーション	1	2	3	4
4) SA やTA(上級生や大学院生の補助)による助言	1	2	3	4
5) グループでの作業や活動	1	2	3	4
6) 定期的な習熟度チェック小テスト	1	2	3	4
7) 定期的な課題提出	1	2	3	4
8) 課題提出物の添削と返却	1	2	3	4
9) フィールド・ワーク	1	2	3	4
10) 体験学習	1	2	3	4
11) 実習・実験	1	2	3	4

14. あなたは、大学入学後につきのような経験をしたことがありますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	経験したことがある	経験したことがない
1) 語学研修プログラムへの参加	1	2
2) 正規交換留学生として留学	1	2
3) 私費留学生として留学	1	2

15. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	役に立たなかった	あまり役に立たなかった	やや役に立った	役に立った
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方に触れること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 一般常識を身につけること	1	2	3	4
9) 協調性を持つこと	1	2	3	4
10) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
11) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
12) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
13) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4
14) 国際的視野の獲得	1	2	3	4

16. あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。次のような意見について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	そう思う
1) 大学で学ぶことは楽しい	1	2	3	4
2) 大学で学ぶこと自体に価値がある	1	2	3	4
3) 大学でよい成績をとることは重要だ	1	2	3	4
4) 大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ	1	2	3	4
5) 大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
6) 大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

17. あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1) 同じ学部・学科の友人がいる	1	2	3	4
2) 他の大学に通う友人がいる	1	2	3	4
3) 大学の教員と交流がある	1	2	3	4
4) 大学の一員だと感じる	1	2	3	4
5) 大学は気おくれして居心地が悪い	1	2	3	4
6) 大学はいつも退屈だ	1	2	3	4
7) 大学では毎日新しい発見がある	1	2	3	4

18. あなたは授業期間中、通常1週間に約何時間、授業中以外に学習活動(授業の予習・復習、課題作成、読書、実験、リハーサル等)を行いましたか。まったく学習しなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

19. あなたは授業期間中に、通常1週間に約何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。アルバイトをまったくしなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

20. あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書(漫画、趣味・娯楽雑誌を除く)をしましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0冊 2. 1冊 3. 2冊 4. 3冊 5. 4冊 6. 5冊以上

21. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	し な か っ た	し な か っ た	あ ま り	た ま に し た	日 常 的 に し た
1) 図書館を利用する	1	2	3	4	
2) 教科書以外の文献を読む	1	2	3	4	
3) 新聞の政治面、経済面、国際面等を読む	1	2	3	4	
4) 新聞、インターネット等で英文記事を読む	1	2	3	4	
5) 学習の計画を立てる	1	2	3	4	
6) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4	
7) パソコンを使って文書や資料を作成する	1	2	3	4	
8) ボランティア活動をする	1	2	3	4	
9) クラブ・サークル活動を行う	1	2	3	4	
10) 新島襄や建学の精神にふれる大学の行事に参加する	1	2	3	4	

22. あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|--------|--------------------|-----------|-------------------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 満足している | どちらかといえば
満足している | どちらともいえない | どちらかといえば
不満である | 不満である |

23. あなたは、本学に対してどのくらい愛着がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|--------------|--------------|---------------|--------------|---------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 非常に
愛着がある | かなり
愛着がある | ある程度
愛着がある | あまり
愛着がない | まったく
愛着がない |

24. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------------|--------------|
| 1. 民間企業に就職する | 2. 公務員や教員として就職する | 3. 自営業や家業を継ぐ |
| 4. 大学院に進学する | 5. 他大学に(編)入学する | 6. 専門学校に進学する |
| 7. まだわからない | 8. その他(具体的に |) |

25. あなたが働くこと(希望する進路)について真剣に考え始めたのはいつごろでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 大学入学前 | 4. 大学3年生の4月から9月 |
| 2. 大学1年生のとき | 5. 大学3年生の10月から3月 |
| 3. 大学2年生のとき | 6. まだ考えていない |

26. あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどのくらい重要ですか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	重要でない	あまり重要でない	ある	やや重要で	重要である
1) 大学で学んだことが生かせること	1	2	3	4	
2) 自分の興味や関心に合っていること	1	2	3	4	
3) 失業の恐れがないこと	1	2	3	4	
4) 高い収入が得られること	1	2	3	4	
5) 社会に貢献すること	1	2	3	4	

27. あなたが将来めざす進路にはどのような能力が必要だと思いますか。A群より、もっとも必要だと考えるものから順に3つ答えて選択肢の番号を記入してください。また、その能力は大学生活のどの場面で得られると考えていますか。最初に選んだA群の項目に対応するものをB群から1つ選択して番号を記入してください。

順位	能力(A群から1つ選択)	場面(B群から1つ選択)
1		
2		
3		

A群

1. 一般的な教養	5. チームワーク	9. 人間関係を構築する能力
2. 専門分野の知識	6. 粘り強く取り組む力	10. 批判的に考える力
3. 課題を解決する力	7. 英語の能力	11. 自ら考え行動する力
4. 問題点を発見する力	8. リーダーシップの能力	12. コミュニケーション能力

B群

1. 大学の授業(教養科目)	5. 海外語学研修のプログラム	9. ボランティア活動
2. 大学の授業(専門科目)	6. 留学	10. 就職活動時
3. 大学の授業(ゼミ・卒業論文・卒業研究)	7. クラブ・サークル活動	11. 大学生活ではあまり身につかない
4. 大学の授業(外国語教育科目)	8. アルバイト	12. その他()

28. あなたは、希望する進路のために次のような活動を行いましたか。以下の項目のあてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	行った	行っていない
1) 専門学校に通う	1	2
2) 進路に関連のある授業を履修する	1	2
3) 目標とする職種に近いアルバイトをする	1	2
4) インターンシップ	1	2
5) 進路に関連する文献・雑誌記事を読む	1	2
6) クラブやサークルの先輩または OB・OG に仕事の話を聞く	1	2
7) キャリアセンターに行って相談を受ける	1	2
8) 教員に相談する	1	2
9) 語学検定試験や資格試験を受ける	1	2

学生 ID の記入について

教育開発センターでは、みなさんが 1 年生の時に実施した調査と今回の調査の回答を照合させ、今後の教育改善の取り組みに役立てていきたいと考えています。

この目的のため、学生 ID の記入をお願いしています。もちろん、この調査は回答者個人を特定して分析するものではなく、学生全体としての傾向を把握するためのものです。したがって、調査の結果から個人情報が入り漏洩することは絶対にありません。

以上のような趣旨をご理解いただいたうえで、学生 ID の利用に同意いただける方は下記の「1. 同意する」に○をつけ、あなたの学生 ID の記入をお願いいたします。

1. 同意する

↓

ID

--	--	--	--	--	--	--	--

2. 同意しない

↓

無記名のまま提出してください。

本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学教育開発センター(ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp)までご連絡ください。

Q9：あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。

Q9では、領域別の満足度について、「満足」から「不満」までの5段階で回答を求めている。図1では、「満足」と「やや満足」の合計（%）が多い順に項目を並べている。「図書館の環境や設備」、「所属学部・学科の専門の授業」、「教室の設備環境」については、多くの学生が満足しているようだ。一方、「就職に関する情報提供や相談」に対する学生の満足度は相対的に低い。

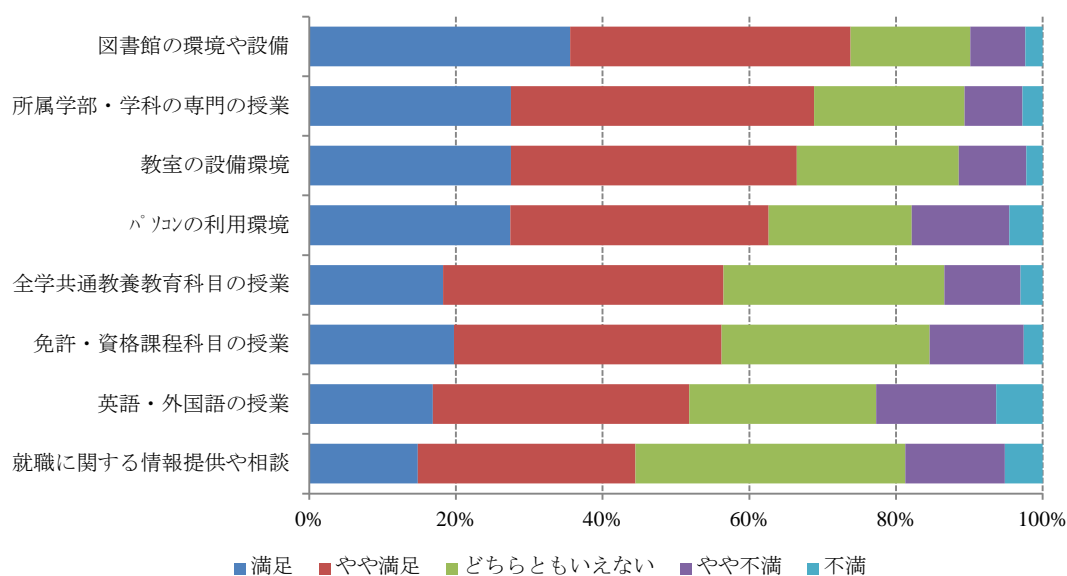


図1：領域別満足度（Q9）

*「免許・資格課程科目の授業」に関しては、Q10（授業の履修状況）と照合し、履修者のみに限定して集計している。

Q10：あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。

図2には、全学共通教養教育科目を中心とした特徴的な授業科目の履修状況を示している（Q10）。学生の受講率が最も高い科目は、62.9%の学生が履修した「同志社科目」であり、これに「体育実技」の38.8%、「教養演習科目」の36.7%が続いている。

また、1年次終了段階では受講率が14.6%であった「学際科目」は20.3%の学生が履修している。加えて、「プロジェクト科目」を履修した学生も1年次の2.9%から9.2%へと6ポイントほど増加している（1年次の受講率は2009年度1年次調査データを用いて算出している）。ただし、実際には、図2に明示した授業科目を履修したにもかかわらず、回答しなかったケースも多いと想定される。

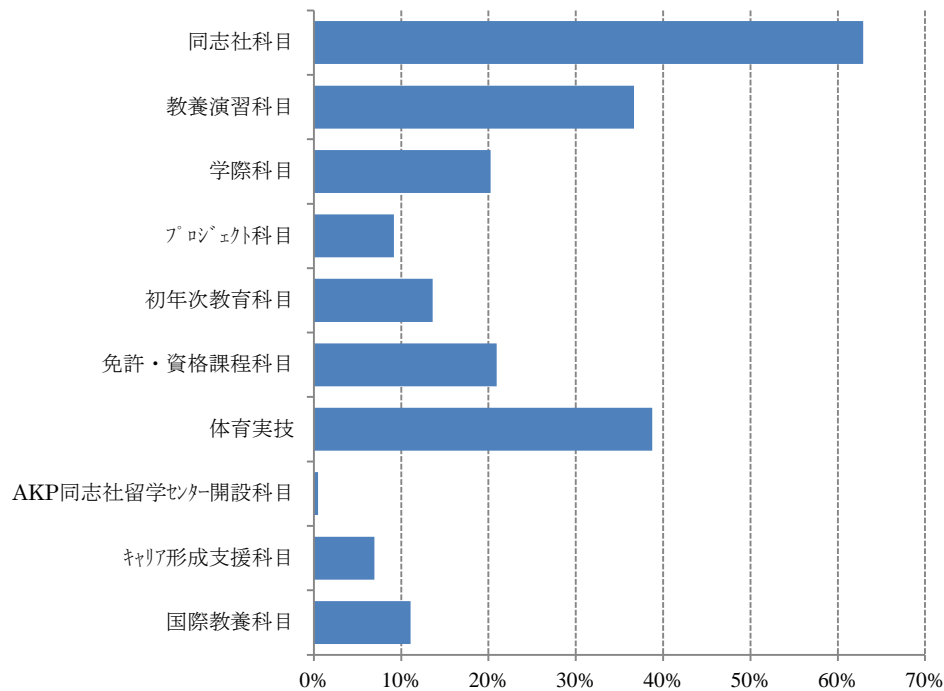


図 2：履修した授業 (Q10)

Q11：あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。
また、今まで本学で学生生活を経験されて、その力がさらに身についたと思いますか。

Q11 では、3年間の大学生活を経て、学生がどのような知識・技能を習得できたと認識しているのかを「身につかなかった」から「身についた」までの4段階の選択肢で回答を求めている。

回答を集計したものが図3であるが、ここでは、「やや身についた」と「身についた」の合計 (%) が多い順に項目を並べている。図3によると、「定められた形式に従ってレポートを書く力」が身についた（「身についた」と「やや身についた」の合計）と考える学生が86.8%で最も多く、これに、「専攻分野や学科の知識」、「文献や資料を読んで要点を理解する力」が続いている。そうした一方、「英語以外の外国語の能力」、「英語の能力」、「キリスト教精神」については、4割以上の学生が身につかなかった（「身につかなかった」と「あまり身につかなかった」の合計）と考えているようだ。なかでも、「キリスト教精神」に関しては、学生の5人に1人（19.9%）の学生が「身につかなかった」と回答しており、その割合は他の項目と比較して高くなっている。

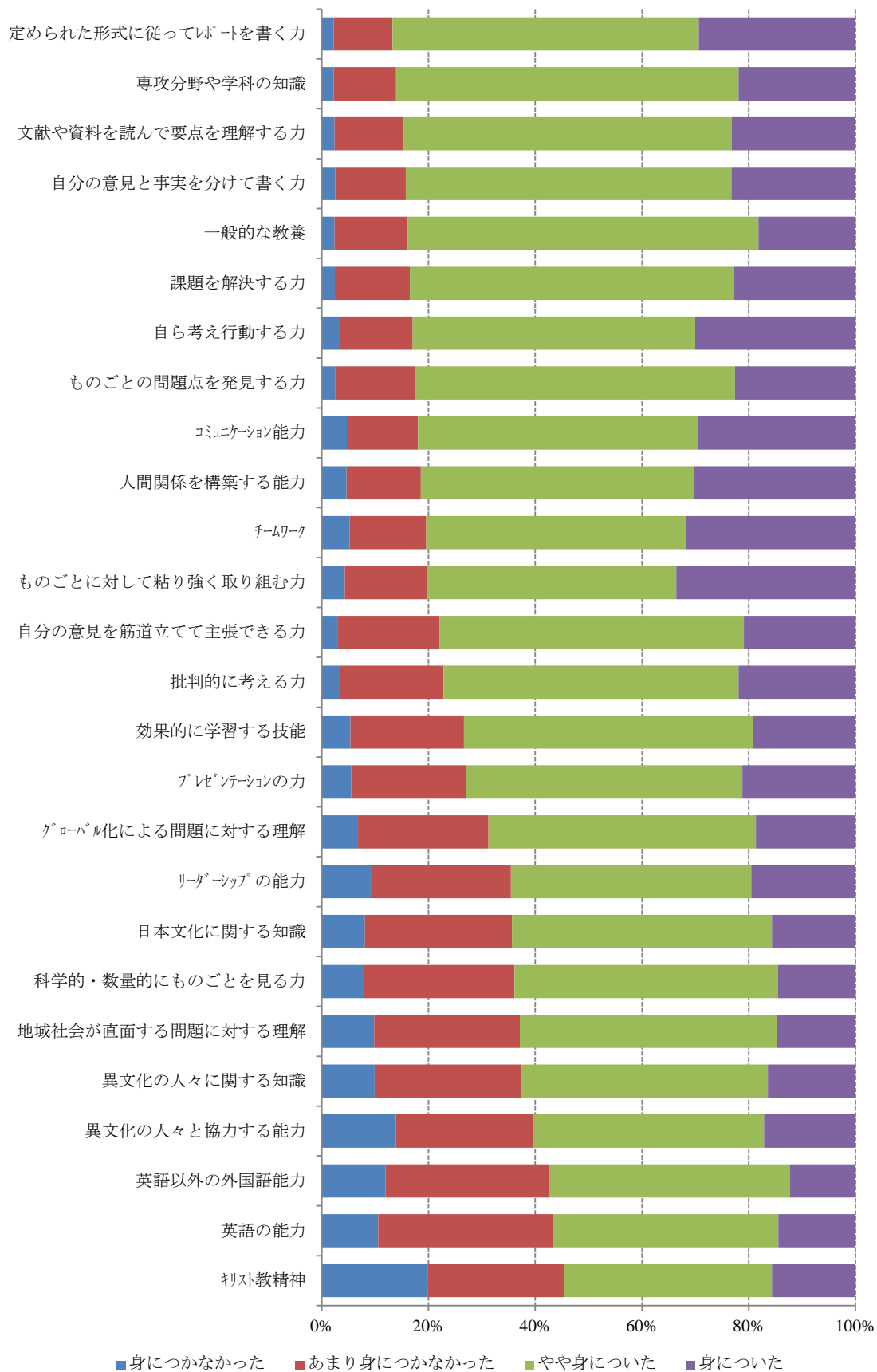


図3：知識・技能の獲得状況「現在」(Q11)

Q12：あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。

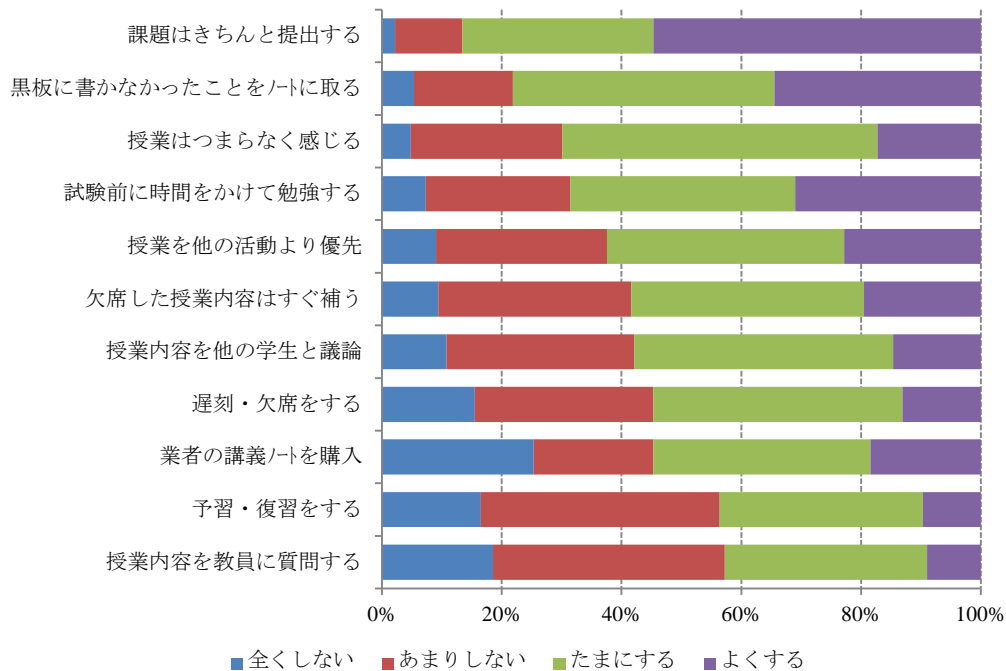


図4：授業に対する取り組み (Q12)

Q12では、授業に対する取り組みについて具体的な行動の頻度を問うている（回答の選択肢は「全くしない」、「あまりしない」、「たまにする」、「よくする」の4段階である）。実行頻度の多い順に項目を集計した結果が図4である。図4の通り、8割を超える学生が「授業で出された課題をきちんと提出する」ことを行っている。「教員が黒板に書かなかったことでもノートに取る」ことや「試験前に時間をかけて勉強する」ことについても、「よくする」学生は3割を超え、「たまにする」まで含めると、およそ7割の学生が実行している。さらに、「遅刻・欠席をする」ことを「よくする」学生は1割ほどにとどまる。これらのことから、学生の多くは基本的な学習態度を身につけていると判断できる。

ただし、一方で「授業の予習や復習をする」ことや「授業内容について教員に質問する」ことを「たまにする」もしくは「よくする」学生は、両項目とも4割強にとどまっている。したがって、学生に対して能動的な学びをどのように誘発するかが今後の課題となる。さらに、「授業をつまらなく感じる」ことが「たまにする」学生も過半数を占めている。

Q13：あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。

Q13では、3年間の大学生活を通して、学生がどのような形態・方法の授業を受講してきたのかを捉えるために、11の項目を設定し、各項目に対して「全くなかった」から「よくあった」までの4段階で回答を求めている。

図5は、それぞれの項目に対する回答結果を整理したものである。図5から、大多数の学生にとって、出欠確認や定期的に出される課題の提出は日常的な出来事となっていることが確認できる。一方、「フィールド・ワーク」、「体験学習」、「実習・実験」といった実践型の授業は、3年次終了段階でも4割近い学生が経験していないようだ。ただし、1年次と比較して未経験者（「全くなかった」）の割合は、1項目（「提出物の添削と返却」）を除き減少している（1年次の回答割合は、2009年度1年次調査をもとに算出している）。

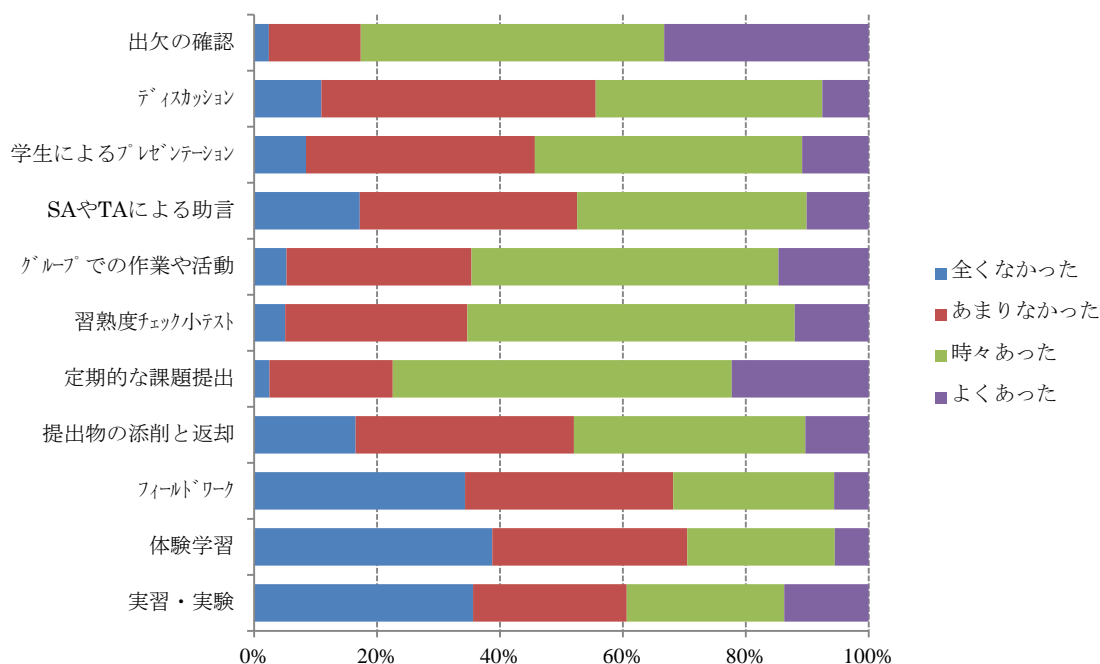


図5：授業の形態・方法（Q13）

Q14：あなたは、大学入学後につきのような経験をしたことがありますか。

Q14では、大学入学後に行った留学等の経験について尋ねている。本学で留学経験がある学生は極めて少数であるが、経験した学生の割合は1年次終了時に比べて、それぞれ1~4ポイントほど増加している（図6）。また、ここで質問した3つの項目のうち、どれか1つでも経験した学生の割合は13.0%であり、昨年度（2010年度）と比べて3ポイントほど増加している。

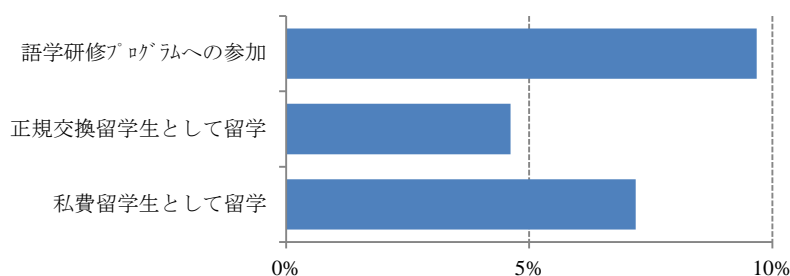


図6：留学等の経験（Q14）

Q15：あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。

Q15では、授業内容がどの程度役立ったかを具体的に質問し、4段階（「役に立たなかった」、「あまり役に立たなかった」、「やや役に立った」、「役に立った」）で回答を求めている。図7では、「やや役に立った」と「役に立った」の合計（%）が多い順に項目を並べている。

回答結果を集計した図7から、「やや役に立った」までを含めると、81.8%の学生が「多様なものの見方にふれること」に対して本学の授業内容が役立ったと考えていることがわかる。高校までの授業と違い大学では、複数の学問領域にまたがる授業が開設され、一つの事象（例えば環境問題など）について多角的に説明されることが多い。このような大学における授業の特色が、回答結果にも反映されたのだろう。さらに、「探究心を持つこと」や「一般常識を身につけること」に関しても、役立ったと評価する学生が多い。

これらの項目とは対照的に、「愛校精神を持つこと」、「国際的視野の獲得」、「リーダーシップを発揮すること」に関する学生の評価は低い。いずれの項目も4割ほどの学生が役に立たなかった（「役に立たなかった」と「あまり役に立たなかった」の合計）と考えているようだ。

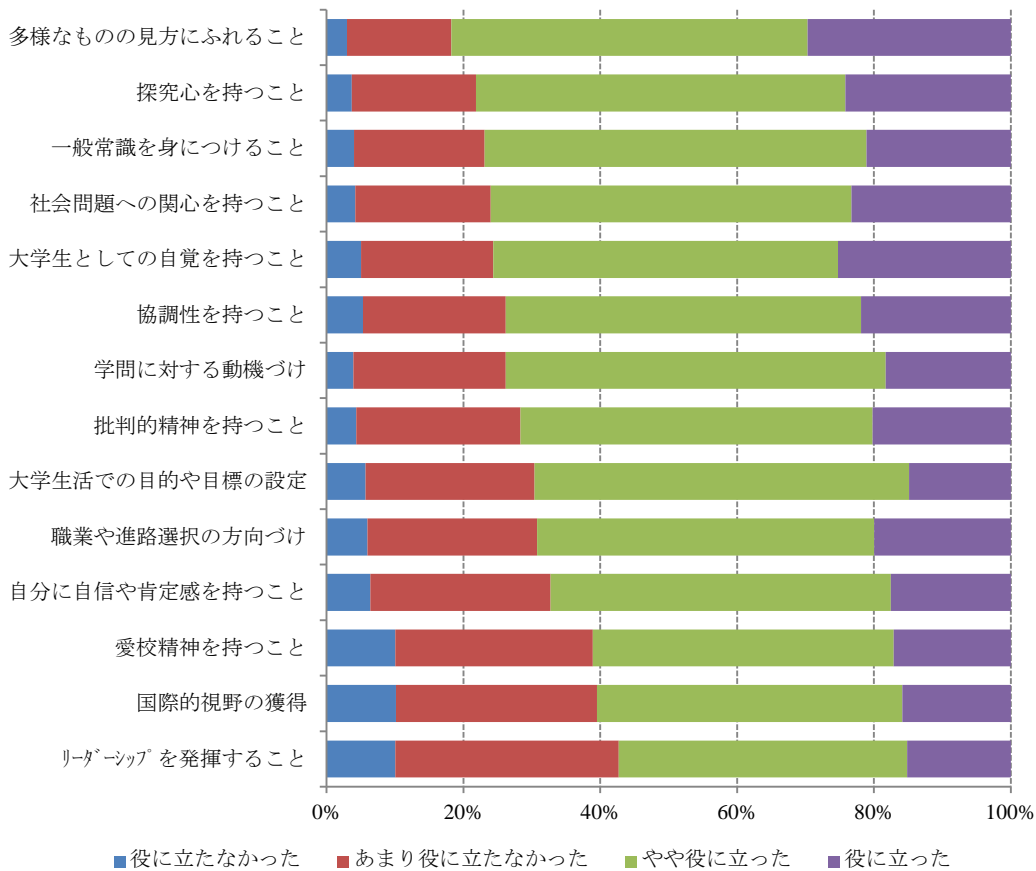


図7：授業に対する評価（Q15）

Q16：あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。

Q16では、学生が大学教育に対してどのような意識を持っているのかを捉えるために、6つの項目を設定し、それぞれについて「そう思う」から「そう思わない」までの4段階で回答を求めている。

図8は回答結果を整理したものである。図8から、大学教育が本体的に持つ価値（「大学で学ぶことは楽しい」、「大学で学ぶこと自体に価値がある」）に関しても、大学教育の職業的価値（「大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ」、「大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる」）に関しても、6～7割の学生は肯定的に考えていることがわかる。ただし、大学での学習内容が就職活動の成否を握ると考えている学生はおよそ4割と半数にも満たない。

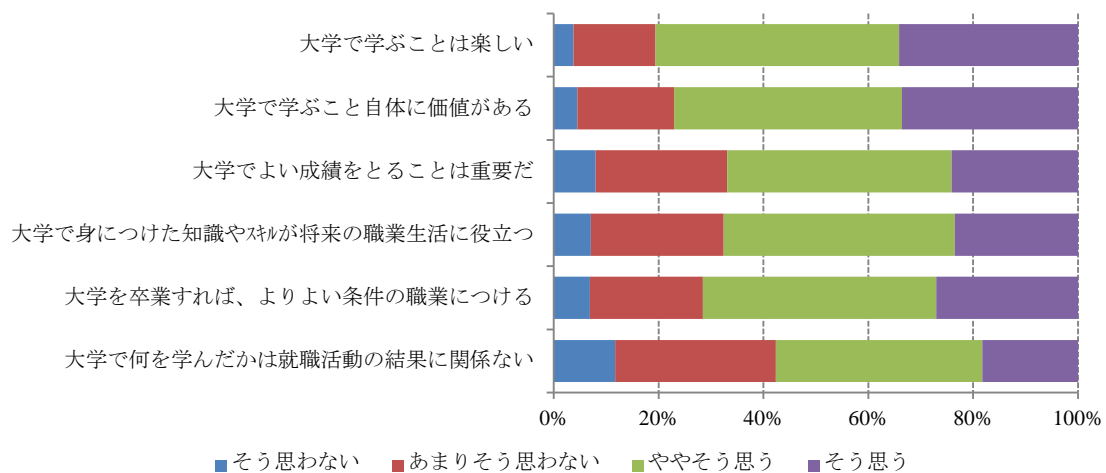


図8：大学教育の価値（Q16）

Q17：あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。

ここでは、大学入学から3年が過ぎた学生の適応状況を見ていこう。Q17では、友人・教員との関係や、大学生活を過ごすなかで日常的に感じる意識を捉えることを目的に、7項目を設定している（回答の選択肢は、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の4段階である）。それぞれの項目に対する回答結果は図9の通りである。これによると、9割近い学生は大学の内外で友人関係を形成していることがわかる。さらに、「大学の一員だと感じる」、「大学は気おくれして居心地が悪い」、「大学はいつも退屈だ」に対する回答結果から、学生の3人に2人は充実した大学生活を送っているものと判断できる。

また、学年進行に伴う回答の変化に着目すると、「大学の教員と交流がある」に対する肯定的な回答（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）は1年次の32.5%から57.6%へと25ポイント以上も増加している（1年次の回答割合は2009年度1年次調査を用いて算出している）。3年次になると専門科目の履修が中心となり、教員と身近に接する機会が増えるのだろう。

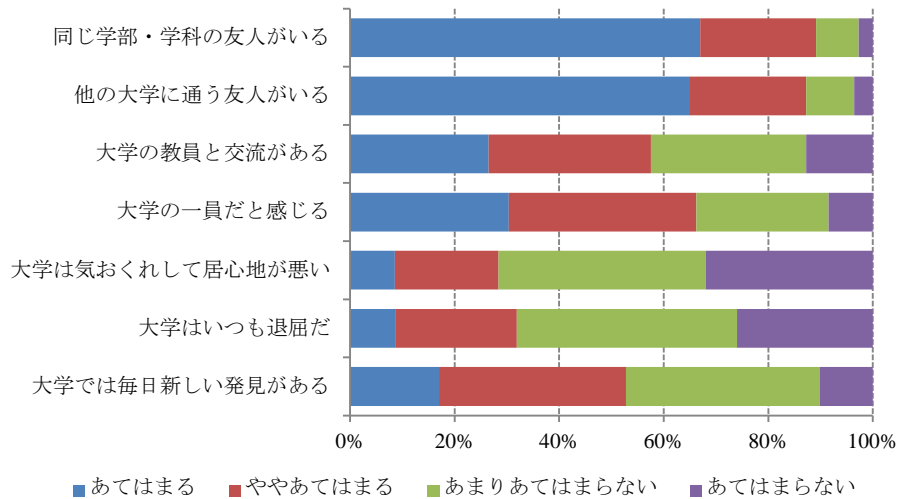


図9：大学への適応 (Q17)

Q18：あなたは授業期間中、通常1週間に約何時間、授業中以外に学習活動（勉強，文章作成，読書，実験，リハーサル等）を行いましたか。

Q18では、授業期間中の授業時間外に行った学習時間（1週間あたり）について尋ねている。本学全体の平均学習時間は4.6時間であり、昨年度（2010年度）の結果と比較して、0.64時間（40分）ほど減少している（2010年度の授業外学習時間=5.3時間）。図10では、1時間ごとに区分して回答を整理している。図10によると、回答の割合が最も多いのは、「0時間」であり、学生のおよそ5人に1人（20.3%）は授業時間外に全く学習活動を行っていないようである。これに、「1時間程度」の18.2%、「2時間程度」の12.8%が続いている。一方で、学習時間が10時間以上の学生は2割弱であった（学習時間が「10時間程度」，「11時間以上」と回答した学生の割合は、それぞれ順に8.8%と8.0%）。

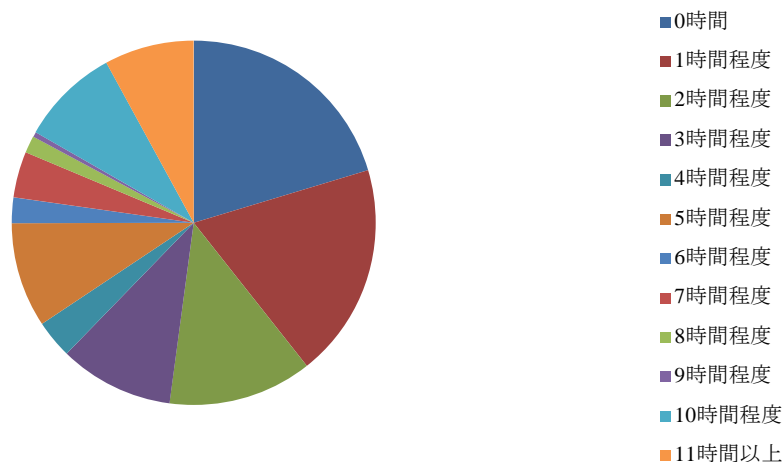


図10：1週間あたりの授業外学習時間 (Q18)

Q19：あなたは授業期間中に、通常1週間に約何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。

授業期間中に行ったアルバイトについても授業外学習時間と同様の形式で、1週間あたりの勤務時間を質問している。本学全体の平均は11.2時間であった。

図11はアルバイト時間を5時間ごとに区分してまとめたものである。これによると、本学全体では2割ほど(22.1%)の学生が全くアルバイトをしていない。一方、アルバイトを行っている学生の1週間あたりの勤務時間で多いのは、6時間から20時間程度となっている(「6-10時間程度」、「11-15時間程度」、「16-20時間程度」と回答した学生の割合は、順に19.8%、16.6%、17.8%)。

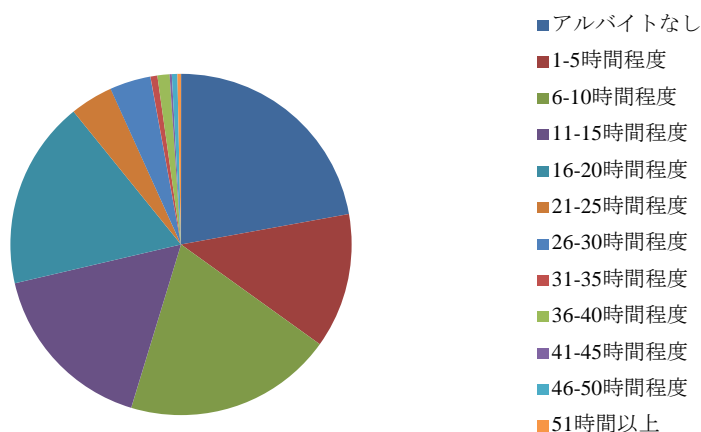


図11：1週間あたりのアルバイト従事時間 (Q19)

Q20：あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書(漫画、趣味・娯楽雑誌を除く)をしましたか。

次に、学生の読書習慣について見てみよう。Q20では、最近3ヶ月間の読書量(授業とは関係のないもので漫画・趣味・娯楽雑誌は除く)を質問している。図12は回答結果をまとめたものである。これによると、「5冊以上」と回答した学生が最も多く、全体の1/4程度(22.5%)を占めている。一方、全く読書をしていない学生(「0冊」)は17.2%であった。

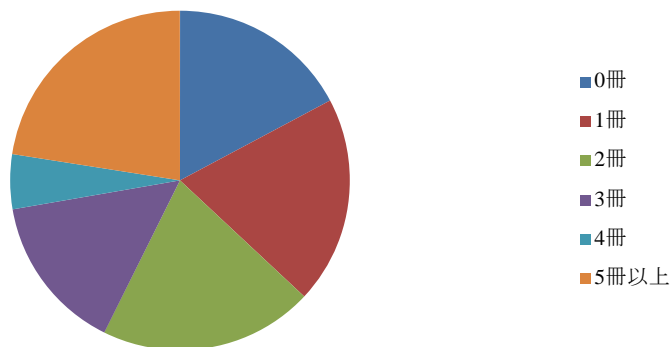


図12：読んだ本の冊数 (Q20)

Q21：あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

ここでは、大学入学から3年が経過した学生の学習行動や生活習慣を確認してみよう。Q21では、図書館の利用状況やクラブ・サークル活動の参加頻度などについて質問し、それぞれの項目に対して「しなかった」、「あまりしなかった」、「たまにした」、「日常的にした」の4段階で回答を求めている。

図13はQ21の回答分布を示したものである。図13と1年次調査の結果を比較してみると、回答傾向に大幅な相違は確認できなかった(1年次調査：図16参照)。ただし、全ての項目で、3年次生の方が「日常的にした」と回答した学生が多い。特に、「インターネットで情報を収集する」と「パソコンを使って文書や資料を作成する」の2項目は、1年次生よりも回答割合が10ポイント以上も高くなっている。また、ボランティア活動の参加経験がある学生は過半数(58.3%)を占めているが、その中で「日常的にした」学生は1割弱(9.4%)と少数であった。さらに、建学の精神にふれる大学行事に参加経験のある学生は、1年次調査と同様、半数ほど(48.6%)であった。

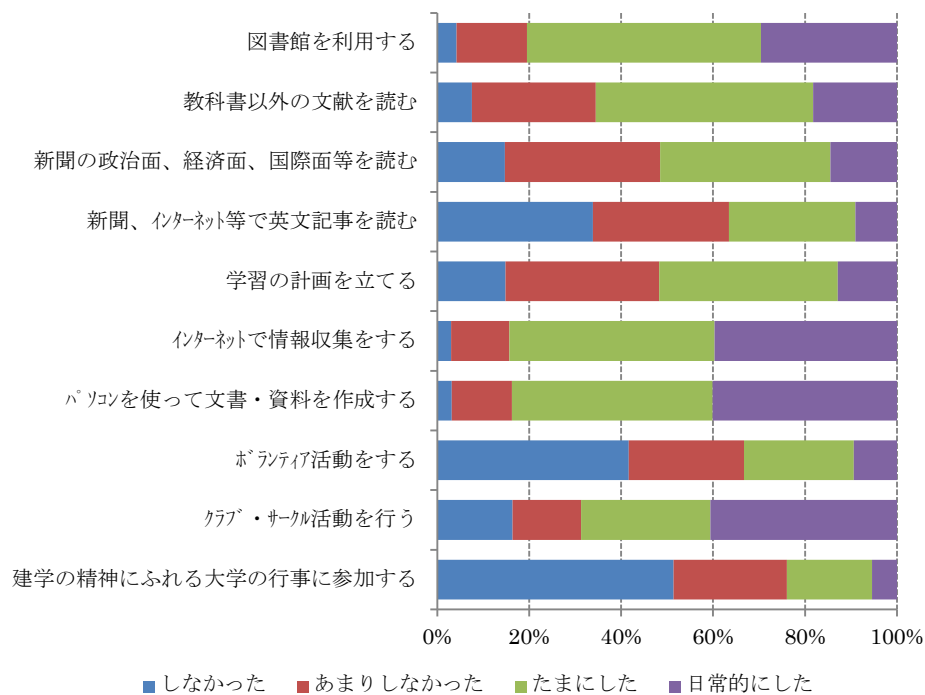


図13：学習行動・生活習慣 (Q21)

Q22：あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。

図14は、本学の教育全般に対する満足度を集計したものである(回答の選択肢は、「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の5段階である)。図14によると、「満足している」は21.1%、

「どちらかといえば満足している」は45.2%で、両者を合わせると、学生の3人に2人(66.3%)は本学の教育に満足していることがわかった。一方、「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計(%)は11.2%であった。

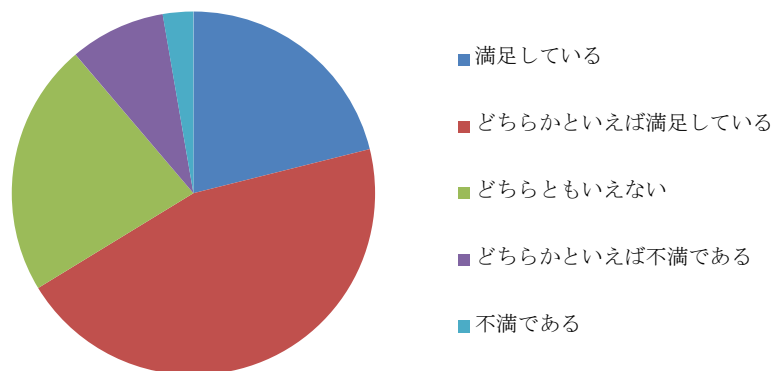


図 14 : 教育満足度 (Q22)

Q23 : あなたは、本学に対してどのくらい愛着がありますか。

図 15 は、「あなたは本学に対してどのくらい愛着がありますか」という設問 (Q23) に対する回答をまとめたものである (回答の選択肢は、「非常に愛着がある」、「かなり愛着がある」、「ある程度愛着がある」、「あまり愛着がない」、「まったく愛着がない」の5段階である)。

図 15 から、半数ほどの学生が本学に対して強い愛着をもっていることがわかる (「非常に愛着がある」と「かなり愛着がある」の合計=45.6%)。一方、「あまり愛着がない」との回答は10.9%、「まったく愛着がない」との回答はわずか3.3%であった。

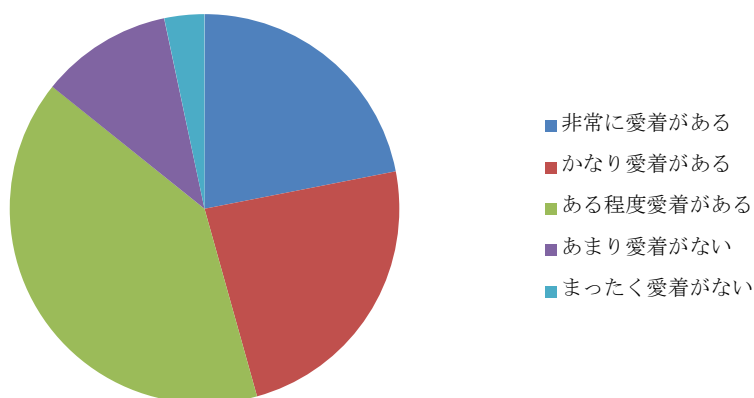


図 15 : 大学に対する愛着 (Q23)

Q24：あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。

ここでは、1年後に卒業を控えた3年次生が将来の進路をどのように考えているのかを確認してみよう。図16は、学部卒業後に希望する進路を示したものである。図16によると、最も多くの学生が希望する進路は「民間企業に就職する」の63.9%であり、「公務員や教員として就職する」の12.7%を含めると、75%以上の学生が卒業後に就職することを希望している。「大学院に進学する」ことを希望する学生は1割強（12.9%）であった。そうした一方、「まだわからない」と回答した学生も少数（6.5%）ではあるが確認できる。

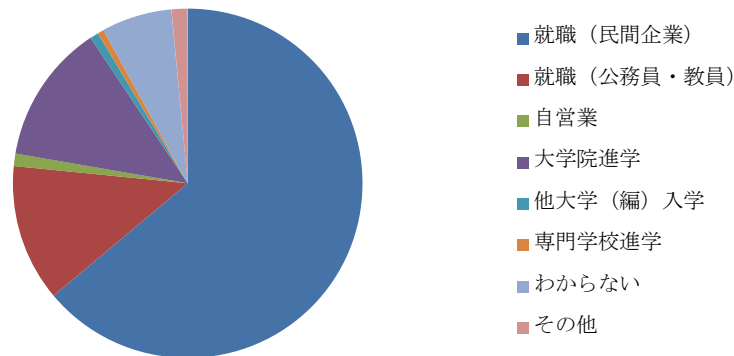


図16：希望する進路（Q24）

Q25：あなたが働くこと（希望する進路）について真剣に考え始めたのはいつごろでしたか。

Q24（希望進路）の分析から、3年次終了までに9割以上の学生が卒業後の進路に関して何らかの希望や見通しを抱いていることがわかった。さらに、Q25では、「働くこと（希望する進路）について真剣に考え始めた」時期について尋ねている。図17は、その回答を男女別に集計したものである。

図17には、男女ともにおよそ6割の学生が3年生に入ってから「働くこと（希望する進路）について真剣に考え始めた」ことが示されている。「大学入学前」から希望進路について考えていた者の割合は、2割に満たない（男子16.9%、女子14.8%）。また、進路を「まだ考えていない」と回答した者の割合は、女子学生に比べて男子学生の方が5ポイント以上多くなっている（男子8.8%、女子3.6%）。

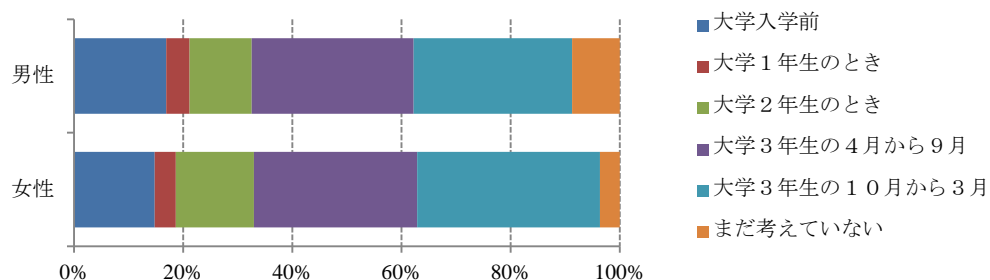


図17：希望進路を考え始めた時期（Q25）

Q26：あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどのくらい重要ですか。

Q26では、就職先を選択する際の基準を捉えることを目的に、図18に示したような5項目を設定し、それぞれの項目に対して4段階の選択肢（「重要でない」、「あまり重要でない」、「やや重要である」、「重要である」）で質問している。項目ごとに回答結果を整理したものが図18である。「重要である」との回答が多いのは「自分の興味や関心に合っていること」ならびに「社会に貢献すること」であり、「やや重要である」まで含めると、その割合は両項目とも8割を超えている。これらの項目とは対照的に、「大学で学んだことが生かせること」を重視する学生は半数を割り込んでいる。

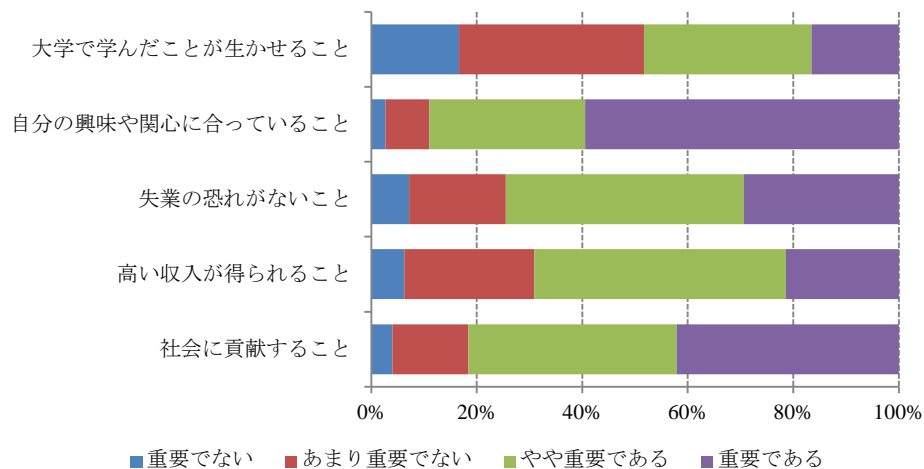


図18：就職の際に重視すること（Q26）

Q27 あなたが将来めざす進路にはどのような能力が必要だと思いますか。A群より、もっとも必要だと考えるものから順に3つ答えて選択肢の番号を記入してください。また、その能力は大学生生活のどの場面で得られると考えていますか。

Q27では、(1) 希望する進路にどのような能力が必要であるか、(2) その能力が大学生生活のどの場面で得られると考えているか、という2つの項目を組み合わせ、1位から3位までの順位付けを行うように求めている。はじめに、学生自身が将来目指す進路に就くために、どのような能力が必要と考えているのかを見ていこう。図19は優先順位ごとに回答を集計したものである。1位では、「コミュニケーション能力」が2割（21.2%）を超え、抜きん出て高い。これに続くのが、「一般的な教養（13.7%）」、「チームワーク（13.7%）」、「自ら考え行動する力（12.6%）」といった項目である。これら以外に10%を上回る項目はない。また2位、3位では突出して高い項目は見当たらない。さらに、「批判的に考える力」が実社会で求められていると考える学生はほとんどいない。

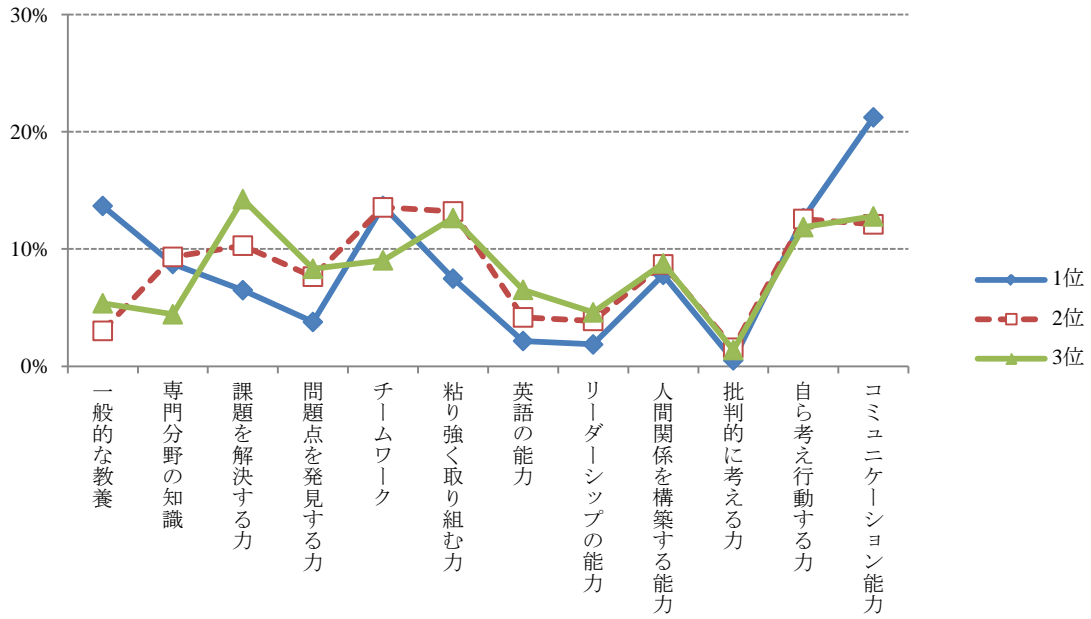


図 19：将来の進路に必要な能力 (Q27)

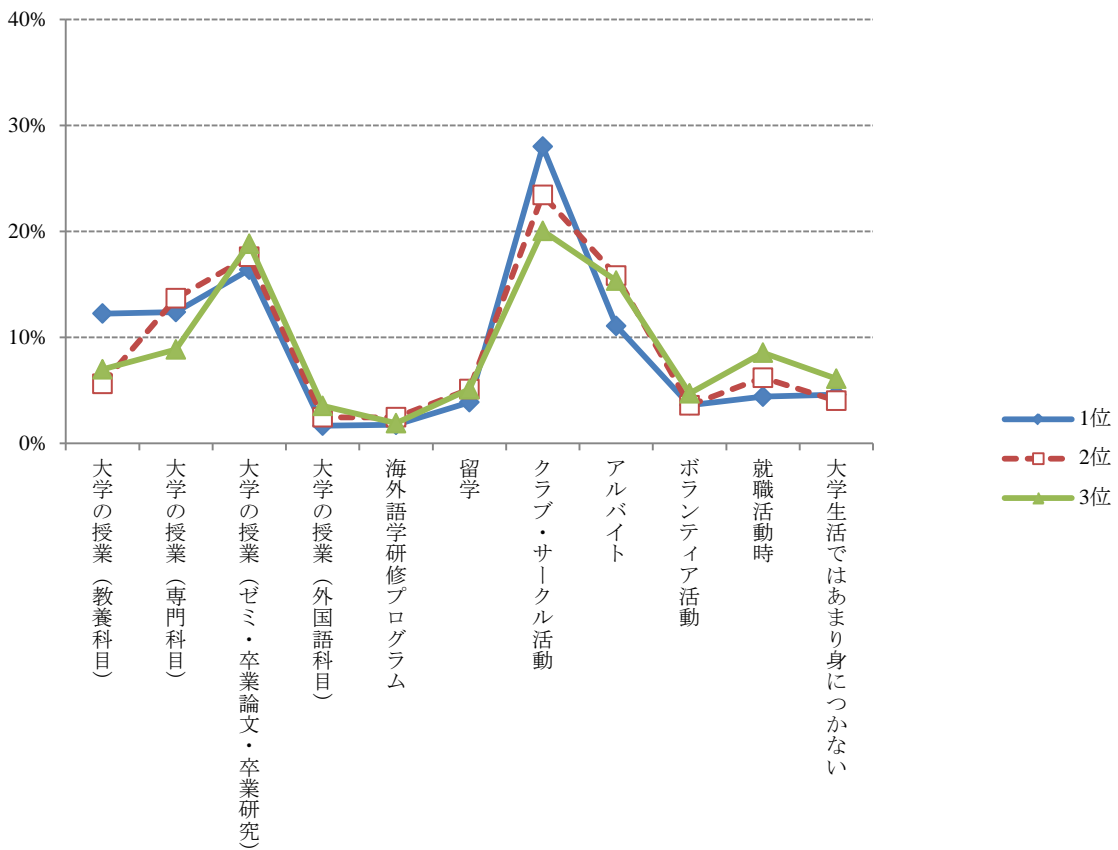


図 20：必要な能力が得られる場面 (Q27)

次に、こうした能力が、どのような場面で習得できると考えているのかを提示したのが図 20 である。図 20 を見ると、1 位から 3 位までで回答傾向にそれほど大きな相違は観察できない。順位を問わず「クラブ・サークル活動」、「アルバイト」、「大学の授業（ゼミ・卒業論文・卒業研究）」への期待が高く、「大学の授業（専門科目）」を選択する学生も一定数（1 割程度）存在する。この結果からも、学生が能力形成の場として大学教育を軽視しているわけではないことがわかる。

続いて、これら 2 つの項目を組み合わせ、必要な能力と得られる場面の対応関係を示したのが図 21 である。図 21 では、能力別に、どのような場面で学生が習得できると考えているのかを 1 位から 3 位までの回答を合併して集計している。加えて、「大学の授業（教養科目、専門科目、ゼミ・卒論・卒研、外国語科目の合計）」の割合が多い順に並べている。したがって、大学教育に対して、学生がどのような期待を寄せているのかを窺い知ることができる。

図 21 を見ると、「専門分野の知識」、「一般的な教養」、「批判的に考える力」、「課題を解決する力」、「問題点を発見する力」などで「大学の授業」の占める割合が過半数を大きく超えていることが確認できる。なかでも、「批判的に考える力」、「課題を解決する力」、「問題点を発見する力」の 3 項目は、「大学の授業（ゼミ・卒業論文・卒業研究）」の占める割合が特に大きい。他方、学生が最重要視していた「コミュニケーション能力」は授業外の場面（「クラブ・サークル活動」および「アルバイト」）で習得できると考えているようだ。

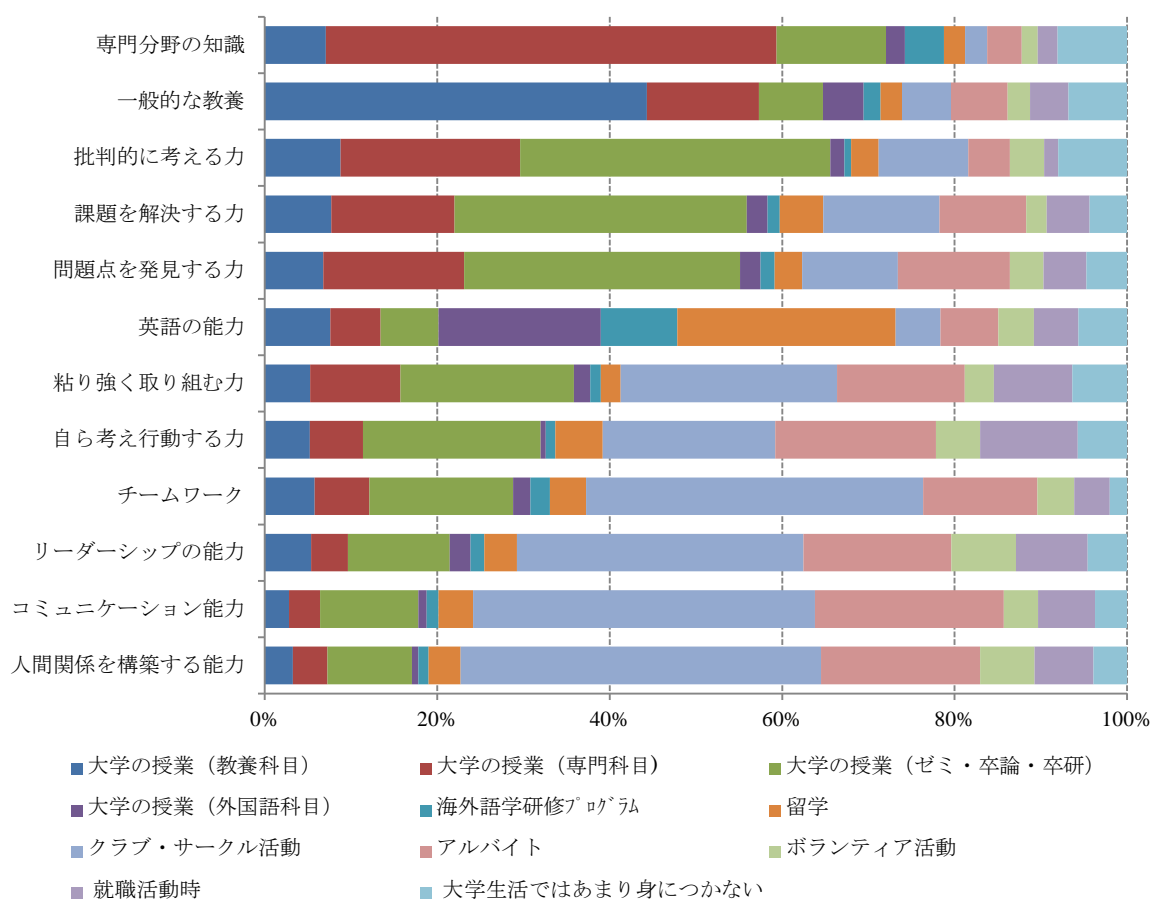


図 21：必要な能力と得られる場面の対応関係

Q28：あなたは、希望する進路のために次のような活動を行いましたか。

最後の Q28 では、希望する進路のために、学生が具体的にどのような活動を行っているのかを質問している。図 22 は、それぞれの項目に対して経験した学生の割合を男女別に集計したものである。

全体的として、回答傾向に男女差は認められない。ただし、1 項目（「専門学校に通う」）を除いて、女子学生の方が経験率は高くなっている。また、最も経験率が高い項目は、男女ともに「進路に関連する文献・雑誌記事を読む（男子 56.9%、女子 68.0%）」であり、「先輩または OB・OG に仕事の話聞く（男子 52.6%、女子 61.4%）」が続いている。3 年次終了時点で「キャリアセンターに行って相談をした」経験のある学生は、男子学生で 3 割程度（29.7%）、女子学生で 4 割強（42.4%）であった。

さらに、「行った」活動の個数を集計してみたところ、平均は男子で 3.1 個、女子で 3.7 個であり、女子学生のほうが積極的に活動を行っていることが判明した。

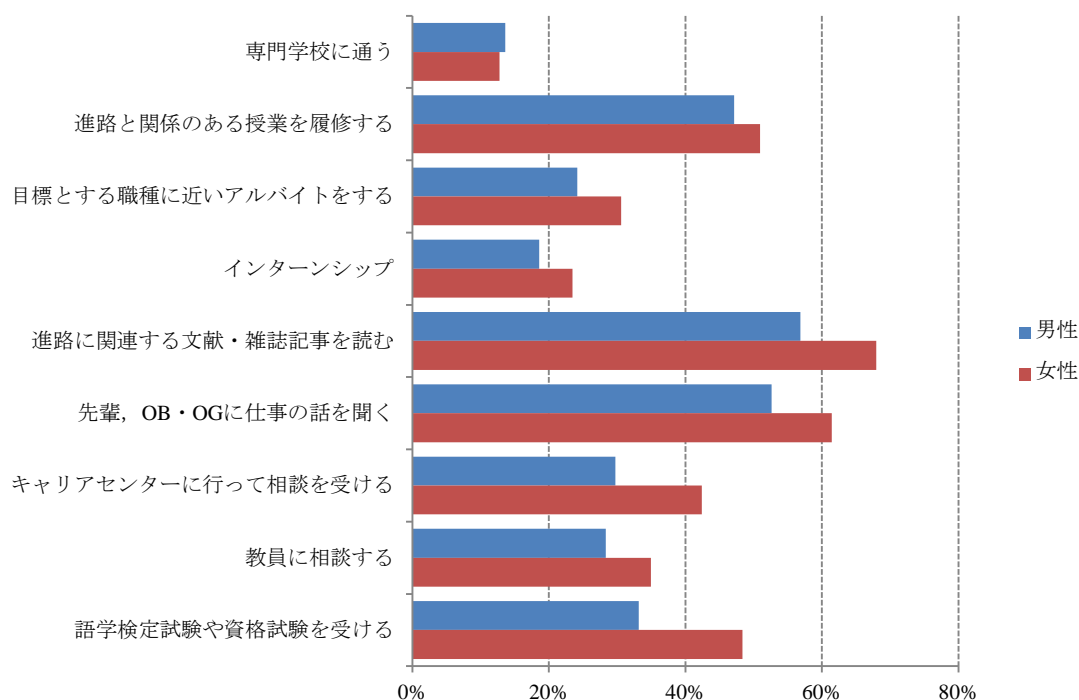


図 22：希望する進路のための活動状況（Q28）